

倉知小学校等複合化施設整備事業

新しい時代に対応した学校教育と地域コミュニティが
連携・交流する多世代にぎわい拠点

主 催： 関 市

1. 背景・経緯

◆公共施設マネジメント

… 市役所や学校、道路、橋などの公共の建物やインフラを、将来にわたって効率的かつ持続的に利活用してくための取組



1. 背景・経緯

公共施設マネジメントが必要となった3つの理由

公共施設の老朽化と
更新需要の到来

人口減少と少子高齢化
(働き手の縮小)

税金の使われ方の変化
(社会的な支援のために
使われる扶助費等が増加)



社会情勢が変化し、新たな公共サービスのニーズが生まれてきた一方、公共施設は老朽化が進み、今後はさらに多額の事業費が必要となる

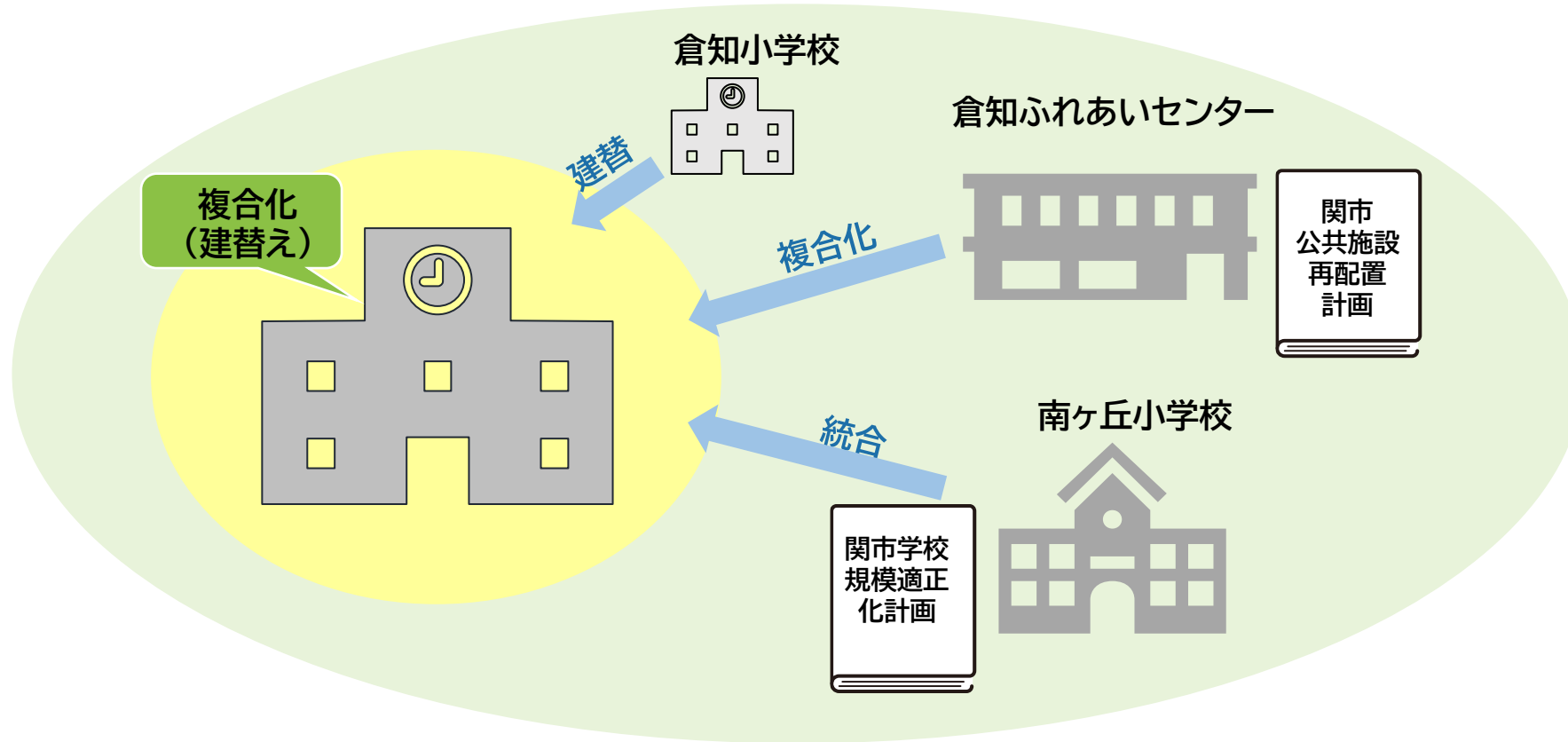
財政面を踏まえ、身の丈に合った公共施設量への削減・再編及び維持管理が必要

～削減目標～

令和45年度(2063年度)までに、公共施設の延べ床面積を**35%削減**

1. 背景・経過

複合化施設 = 「倉知小学校」 + 「倉知ふれあいセンター」 + 「南ヶ丘小学校」



関市公共施設再配置計画(平成28年3月策定):「倉知小学校」と「倉知ふれあいセンター」を複合化し、「南ヶ丘小学校」を統合。

関市学校規模適正化計画(令和6年12月策定):「南ヶ丘小学校」は規模適正化にむけて「倉知小学校」と再編。

1. 背景・経過

新たな複合化施設に期待する効果

施設利用の効率化



防災機能の強化



地域コミュニティの活性化



教育効果の向上



コスト削減



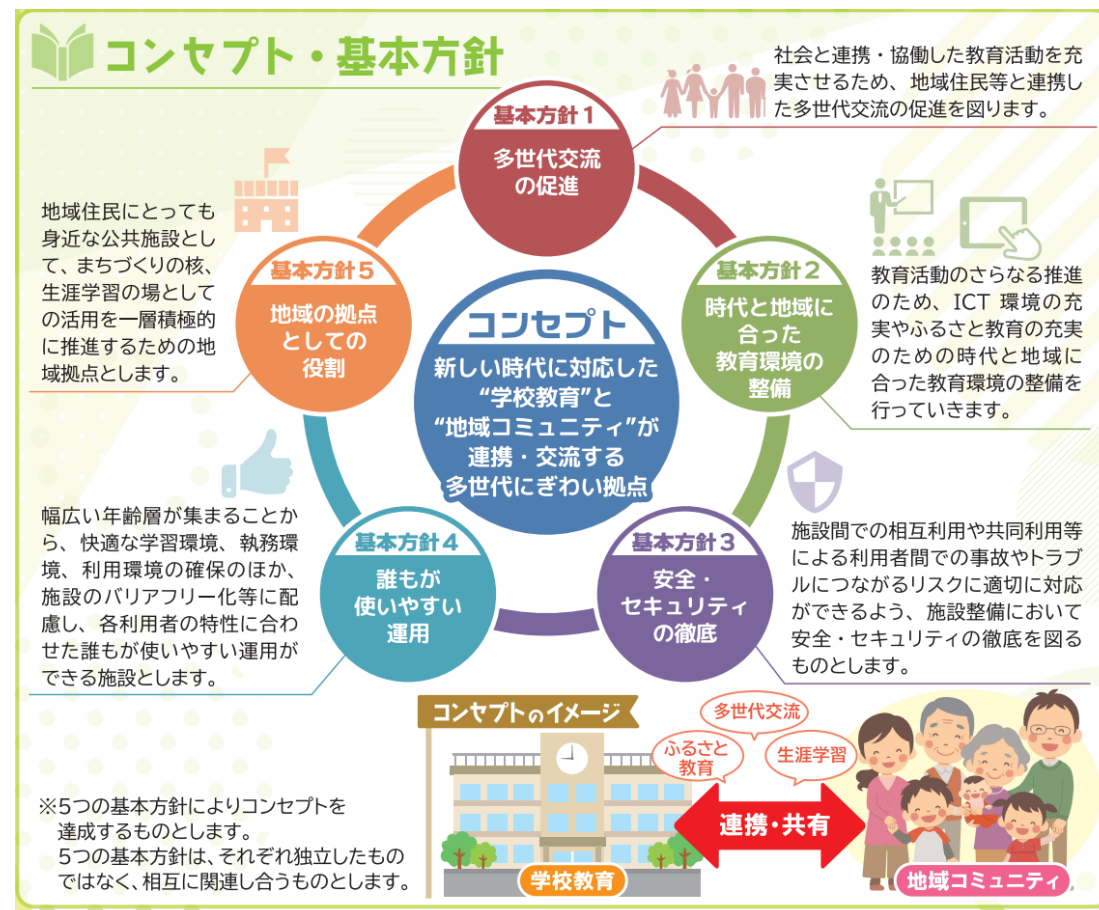
1. 背景・経過

倉知小学校等複合化施設整備事業 基本構想

令和6年度に市民ワークショップ、教職員・PTAアンケート調査を実施し、倉知小学校等複合化施設のコンセプトや基本方針について意見を出し合い、基本構想を策定しました。



写真:市民ワークショップの風景



1. 背景・経過

倉知小学校等複合化施設 設計ワークショップ

基本構想を設計に反映していくにあたり、具体的な機能や諸室等について考え、より良い複合化施設の設計を作り上げていくことを目的とした設計ワークショップを開催しました。

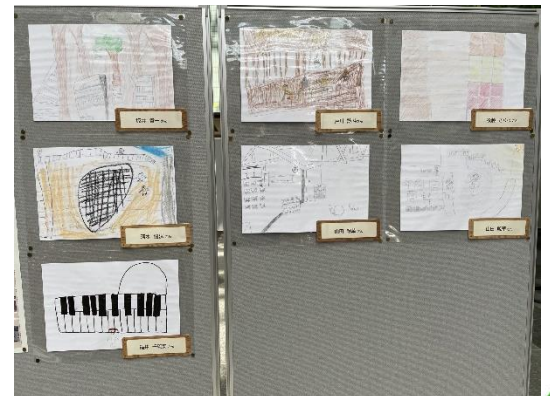
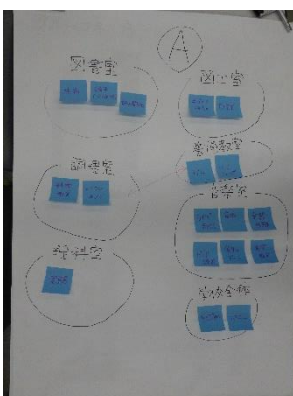
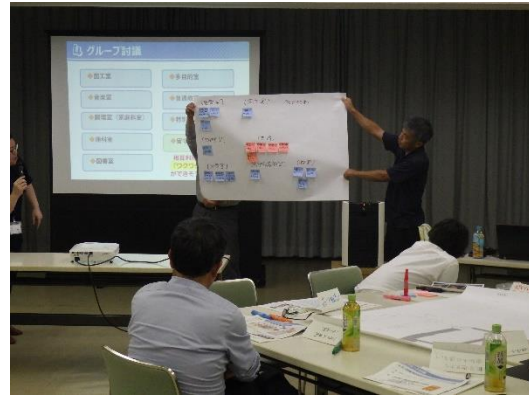


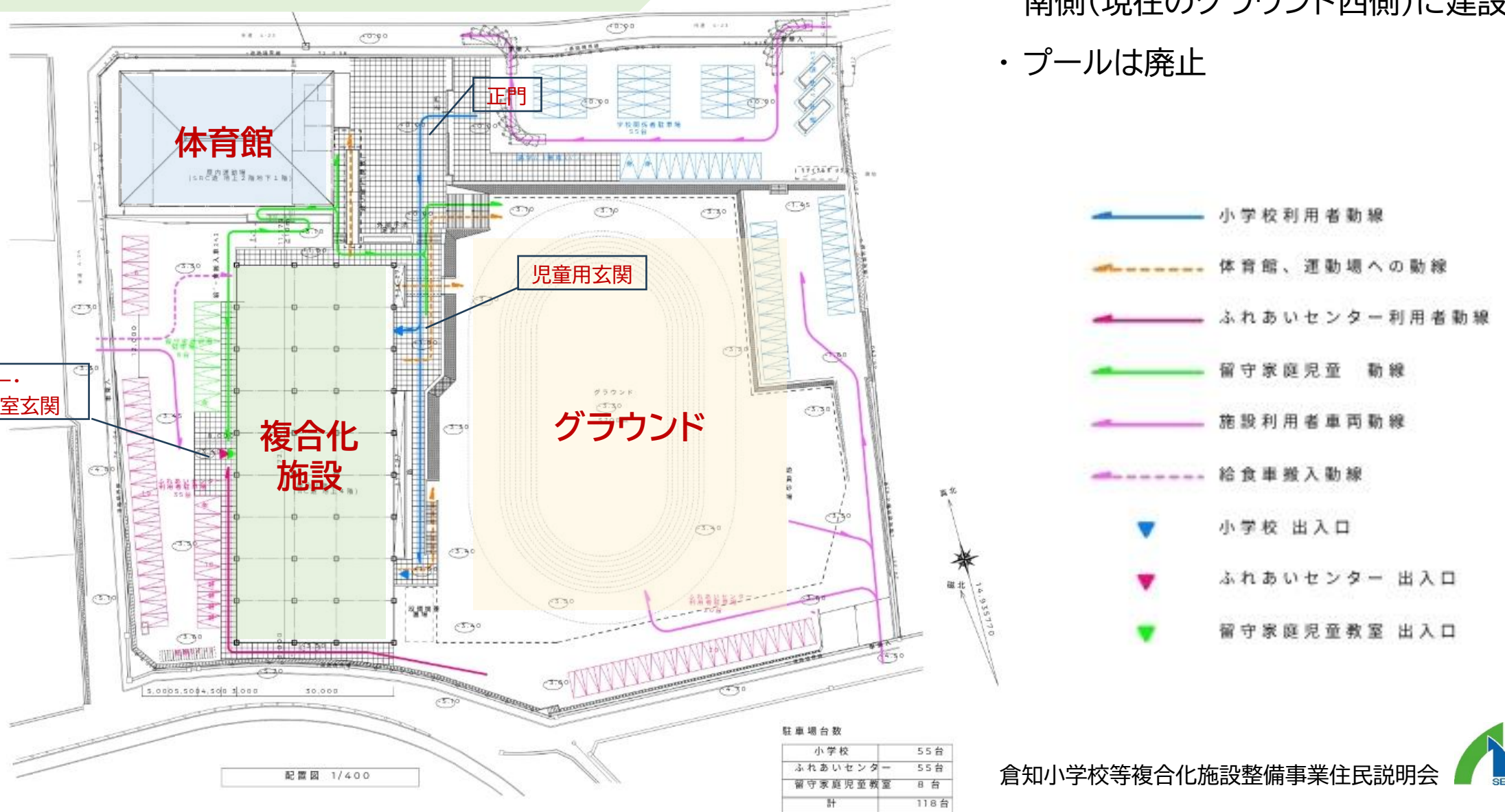
写真:設計ワークショップの風景

写真:設計ワークショップ・アトリウム展示の風景(こども対象)

2. 複合化施設

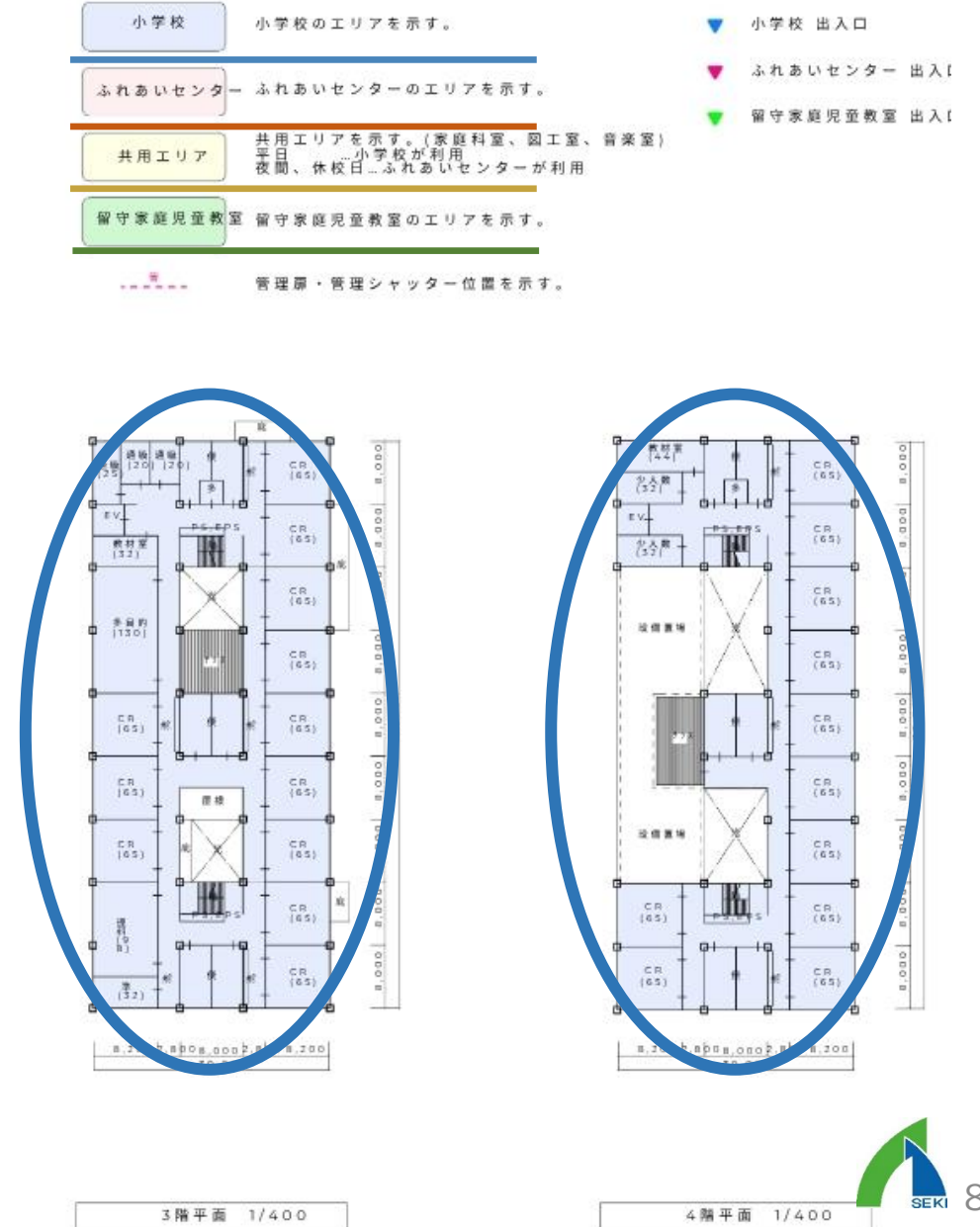
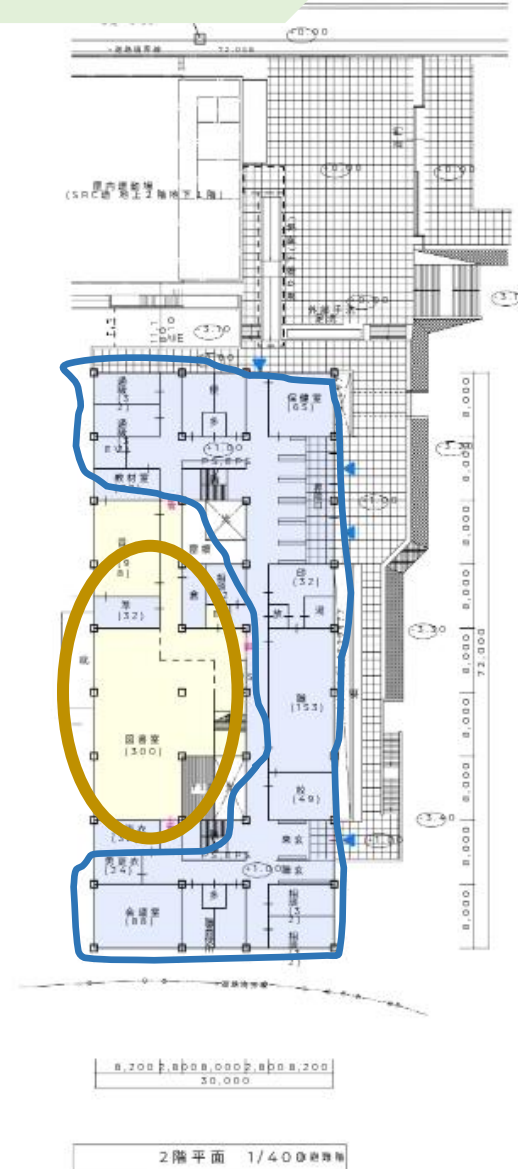
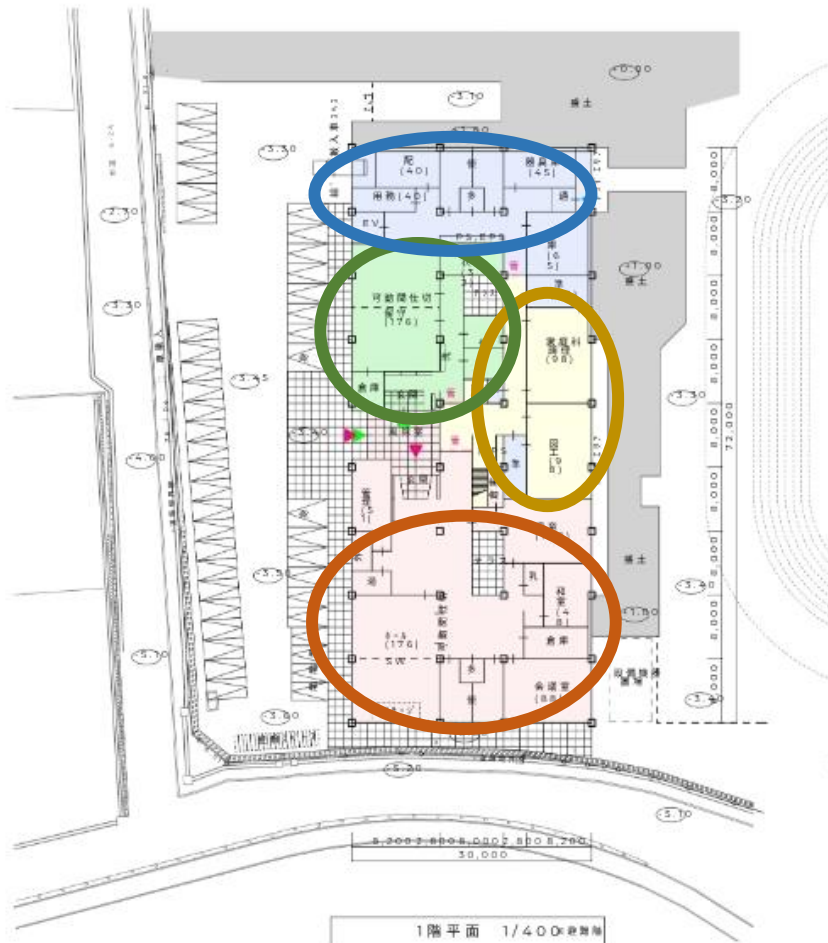
倉知小学校等複合化施設 配置図(案)

- ・複合化施設は体育館の南側(現在のグラウンド西側)に建設
- ・プールは廃止

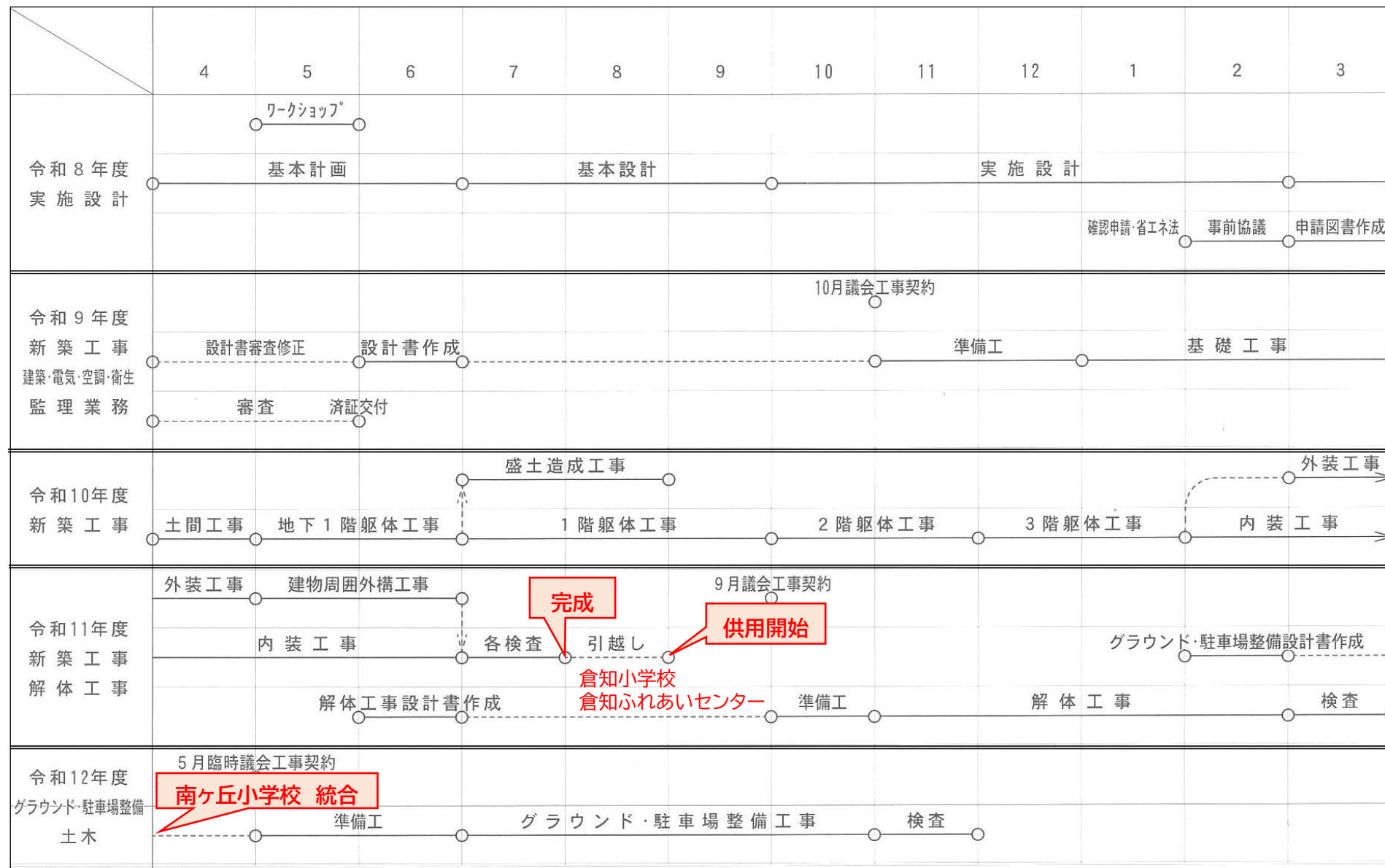


2. 複合化施設

倉知小学校等複合化施設 平面図(案)



3. スケジュール



(注)スケジュールは、現時点で想定される最短でのスケジュールであり、必要に応じて見直しを行う可能性があります。



3. スケジュール

令和8年 10月 住民説明会

令和9年 9-10月頃 工事開始

令和11年 9月 供用開始（倉知小学校、ふれあいセンター）

令和12年 4月 供用開始（南ヶ丘小学校）

終

